



65\_オンデマンド動画

# 学生の動画視聴ログから 講義動画の改善点を探る方法 【学生全体版】

最終更新日：2022年12月9日

1. 「視聴者維持率」で、どこが見られているかを知る
2. 「視聴レポート」で、いつ見られているかを知る

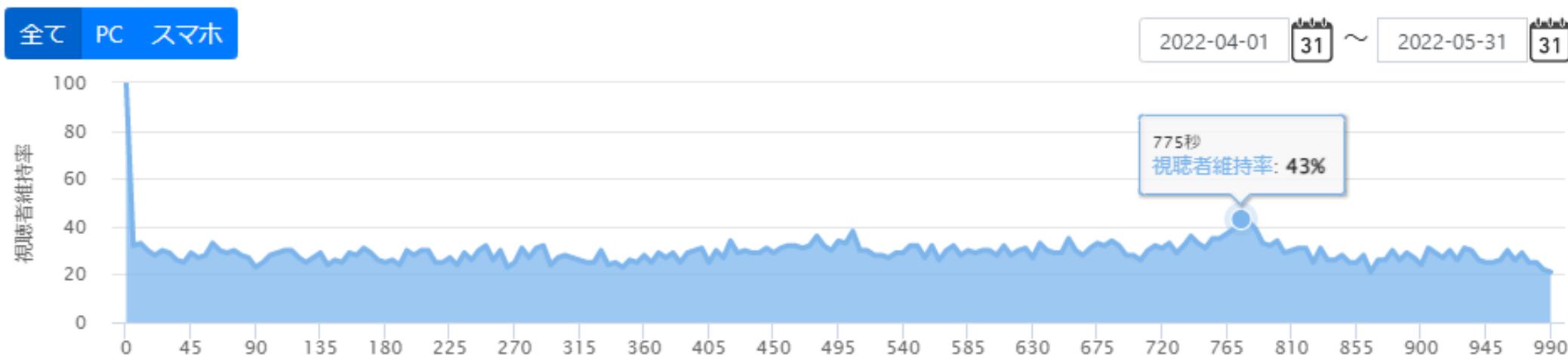
# 「視聴者維持率」での分析方法（1）

## 視聴者維持率とは？

millviサポートサイトより転載

動画尺全体でどこが一番見られているかを分析する際に使用します。  
縦軸が視聴者維持率、横軸が動画尺（単位：秒）を表します。

視聴者が動画を再生する際に一定間隔で再生位置を取得し、**一番再生が多かった位置を100%**とし、それに対する割合を表示します。動画の尺が進むにつれて視聴者が徐々に離脱した場合、視聴者維持率はゆるやかに下がっていきます。シークが行なわれた場合は、シークにより**飛ばされた部分の視聴者維持率は下がり、シーク先の地点から再生位置が上がります**。

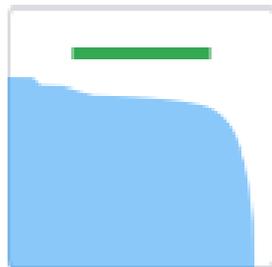


# 「視聴者維持率」での分析方法（2）

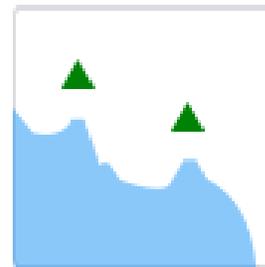
## 視聴者維持率グラフの解釈方法

YouTubeヘルプより転載（一部追記）

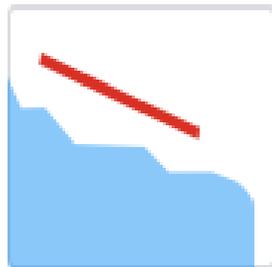
視聴者維持率グラフの形状により、動画の中で視聴者が最も興味のある箇所を（あるいは最も興味のない箇所を）知ることができます。



**グラフの線が平坦**である場合は、視聴者が動画のその部分を最初から最後まで再生していることを示しています。視聴者の多くが動画を最後まで視聴しているという理想的な状態です。

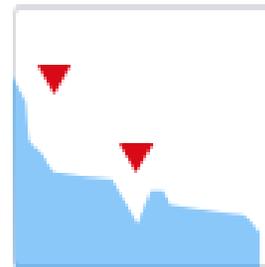


**グラフの山の部分**は、多くの視聴者が動画のその部分を何度も視聴したことを示しています。学習系コンテンツの場合、「その部分が聞き取りにくい」「うまく理解できなかった」といった可能性もあります。



**緩やかな下降**は、時間の経過とともに視聴者が関心を失っていることを表します。再生中に徐々に視聴者が離れていく傾向にあります。

**急激な下降**は、冒頭付近に頻出ですが、中盤以降にある場合は視聴者が飽きている可能性があります。

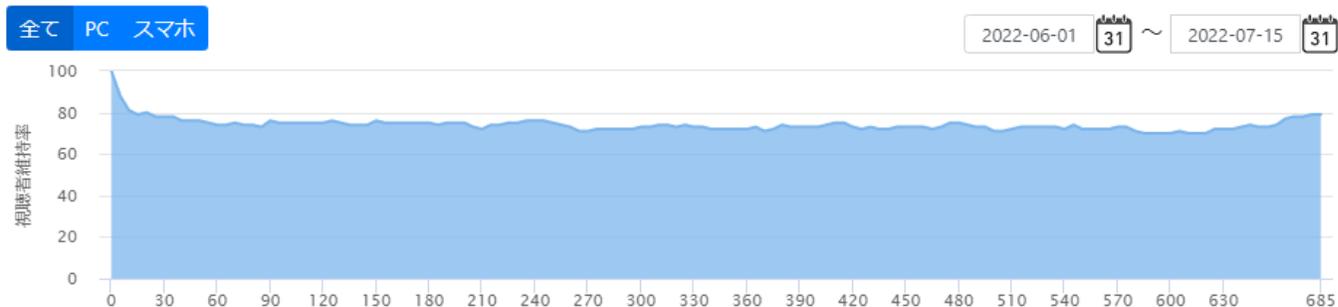


**グラフの谷の部分**は、視聴者が動画のその部分で視聴を止めたか、その部分をスキップしたことを示しています。動画が間延びしていないか、クライマックスまでをシンプルにできないか再考する必要が考えられます。

# 「視聴者維持率」での分析方法（3）

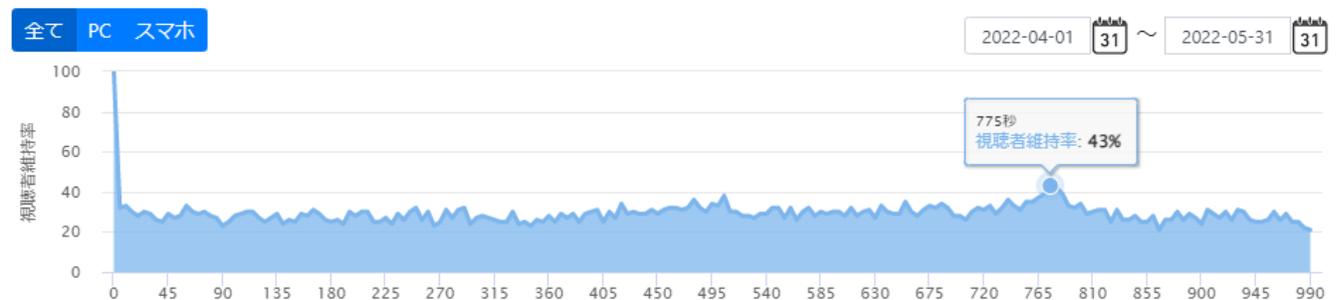
## 実例解釈

1



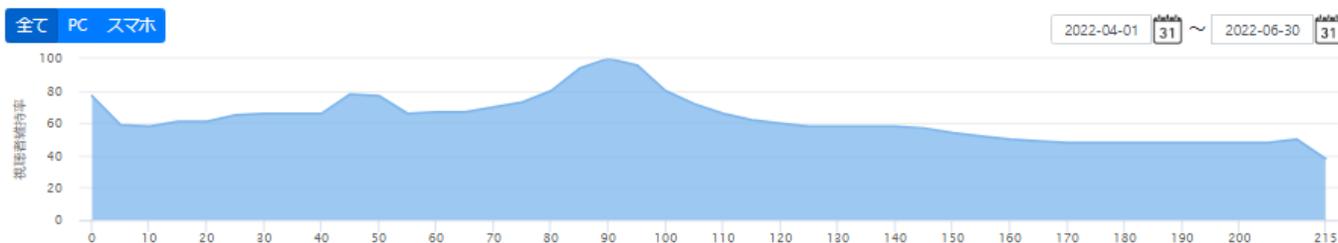
グラフの線があまり凸凹しておらず比較的平坦なまま**高い視聴者維持率をキープ**していることから、学生は、動画の最初から最後まで、あまりシーク操作をせずに、再生・視聴したことがわかります。**通常動画では理想に近いグラフ**と言えます。最後10数秒が少し増えているのは、この動画の視聴を完了しないと次の動画が視聴できない設定になっていることが一因と考えられます。

2



開始数秒でシーク操作が行われるか離脱するかされていることがわかります。グラフの線がかなり凸凹しているので、**スキップ等のシーク操作が頻繁に行われている**ことが伺いしれます。激しい凸凹は、動画のテンポが悪い、映像が代わり映えしないなどで、途中を飛ばして結論だけを知りたいときに現れる傾向があります。復習用途等での部分的な再視聴が多い場合にも同様の傾向が出ます。

3



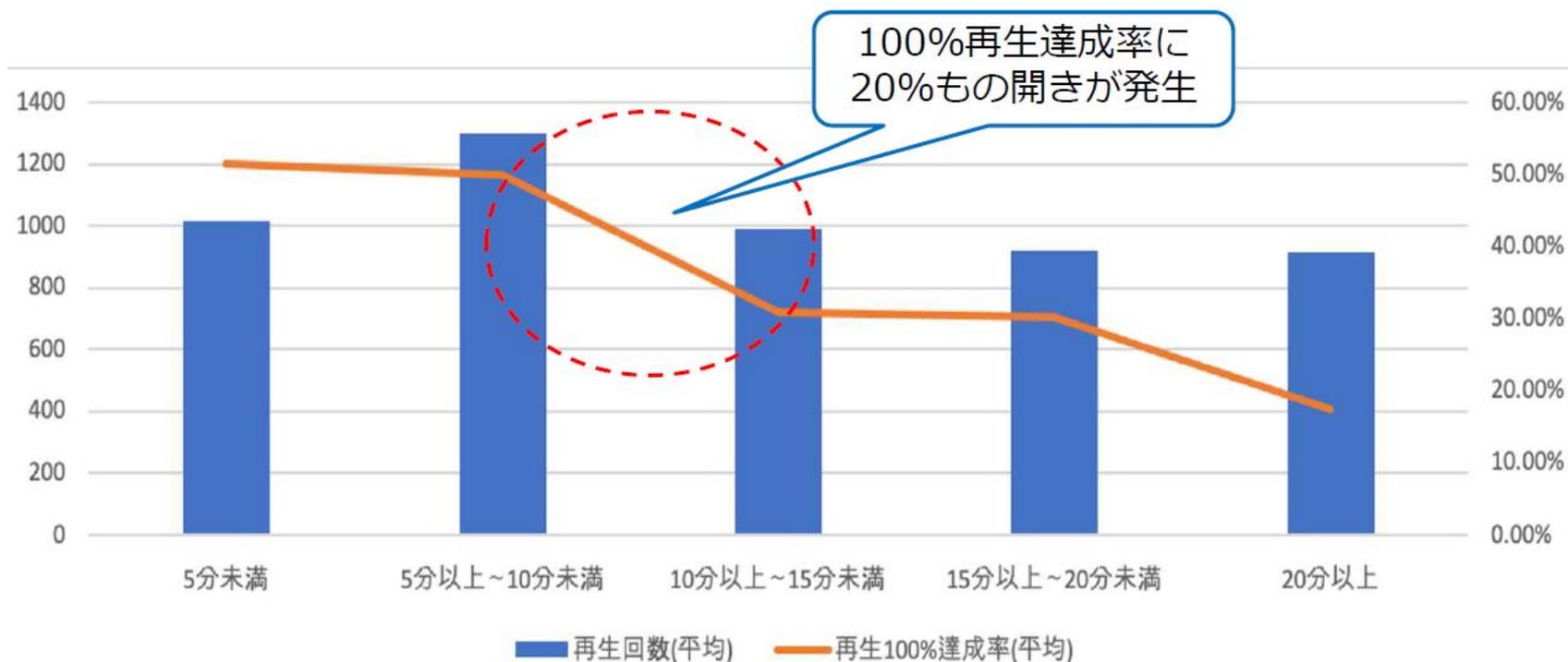
一番再生が多かった100%の位置が、開始時ではなく中盤にあることから、その場所が、**シークバーを巻き戻して、繰り返し見ている**視聴行動が伺えます。学習系動画の場合、聞き取りにくかったり、一度で理解できなかったことも考えられるため、該当部分の解説動画の追加の要否が、検討ポイントとなります。一方で、**動画中盤以降の急降下は、視聴者が飽きているか、興味を失わせる内容**となっている場合があり、これも動画改善の一つのポイントとなります。

# 長い動画は視聴者維持率が悪い

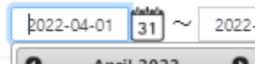
視聴者維持率を分析する前提の情報として、再生時間の長い動画ほど視聴者維持率が悪いという相関があります。

早稲田大学の2020年度授業の視聴データ分析によると、10分を超える動画は、10分未満の動画と比べて、100%再生（最後まで視聴）に20%の差があったことがわかりました。また、20分以上の動画を最後まで視聴する割合は、2割程度まで落ち込んでいたことがわかりました。

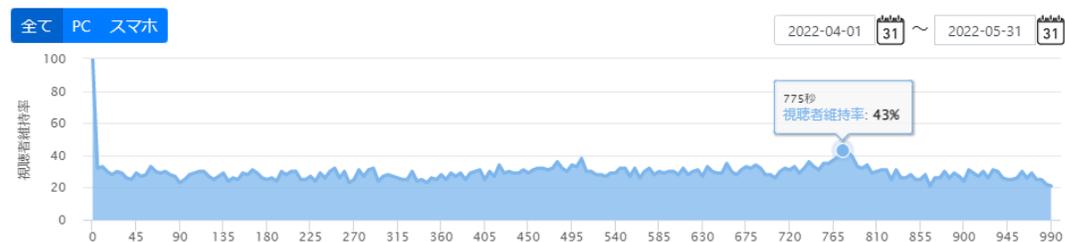
1動画1テーマとして10分未満の動画を複数用意する方が、学生にとって学びやすく、教員にとっても使いやすい（別の科目での利用や内容更新時の差し替え等がしやすい）ので、推奨されています。分析もしやすいです。



# 「視聴者維持率」を確認する手順

1. Waseda Moodleで、自身が担当教員になっているなど編集権限のある任意の科目を表示します
2. 画面左側のメニューから、動画一覧（）をクリックします  
※左側にメニューがない場合は、画面左上にある三本線アイコン（）をクリックすると表示されます
3. 動画一覧画面になり、自身がWaseda Moodle上で所有者となっている動画のリストが表示されます  
視聴者維持率を確認したい動画を探し、その動画の詳細ボタン（）をクリックします
4. 動画詳細画面が表示されます。画面中央の視聴レポートタブ（）をクリックします
5. 最初は、表示・再生回数の折れ線グラフが表示されています。  
グラフの左下にある視聴者維持率ボタン（）をクリックします
6. グラフの右上にある期間設定（）で、データを確認したい任意の期間に変更します
7. 視聴者維持率グラフが表示されます

※表示されるまでに時間がかかったり、ダイアログボックスが表示されたりすることがあります。大変恐縮ですが、どうぞ根気よくお待ちください。



# 「視聴レポート」の見方（1）

## 視聴レポートとは？

「65\_オンデマンド動画」で設定した動画は、学生の視聴ログを記録しているので、学生全体や学生個別の視聴状況を確認することができます。

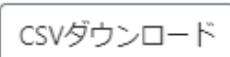


これは、視聴期間を5/21～5/27として設定した動画の、該当期間を含む10日間の視聴レポートです。表示・再生回数グラフから、学生の多くが視聴期間最終日である5/27に動画を視聴していることがわかります。

# 「視聴レポート」の見方（2）用語説明

用語（CSVヘッダ名）	意味
表示回数（show）	動画のサムネイル（プレイヤー）が表示された回数です
再生回数（play）	動画が再生された回数です
再生率	「再生された回数 ÷ サムネイルが表示された回数」です ※視聴完了後にすぐまた再生したなどで、サムネイルが表示される回数より再生回数 が上回って、100%を超える場合もあります
平均再生時間	「再生時間 ÷ 再生回数」です
再生達成率	再生の途中で離脱やシークせずに再生されているかを把握できます
再生達成率 25%	下記計算式の結果を表示します 「（シーク操作や離脱等をせず動画尺全体の25%まで視聴した再生回数 ÷ すべての再生回数） × 100」
再生達成率 50%	下記計算式の結果を表示します 「（シーク操作や離脱等をせず動画尺全体の50%まで視聴した再生回数 ÷ すべての再生回数） × 100」
再生達成率 75%	下記計算式の結果を表示します 「（シーク操作や離脱等をせず動画尺全体の75%まで視聴した再生回数 ÷ すべての再生回数） × 100」
再生達成率 100%	下記計算式の結果を表示します 「（シーク操作や離脱等をせず最後まで視聴した再生回数 ÷ すべての再生回数） × 100」

# 「視聴レポート」を確認する手順

1. Waseda Moodleで、自身が担当教員になっているなど編集権限のある任意の科目を表示します
2. 画面左側のメニューから、動画一覧 (  ) をクリックします  
※左側にメニューがない場合は、画面左上にある三本線アイコン (  ) をクリックすると表示されます
3. 動画一覧画面になり、自身がWaseda Moodle上で所有者となっている動画のリストが表示されます  
視聴者維持率を確認したい動画を探し、その動画の詳細ボタン (  ) をクリックします
4. 表示・再生回数の折れ線グラフが表示されます。  
グラフの右上にある期間設定 (  ) で、データを確認したい任意の期間に変更します
5. 指定した期間でのグラフに更新されます  
※表示されるまでに時間がかかったり、ダイアログボックスが表示されたりすることがあります。大変恐縮ですが、どうぞ根気よくお待ちください。
6. グラフ下のテーブルが表示されたら、テーブル右上 (グラフ右下) にある CSVダウンロードボタン (  ) をクリックすると、そのデータをCSVでダウンロードできます